

2022年7月27日

各 位

株式会社福井銀行

レンゴー株式会社向け 「グリーンローン」シンジケートローンへの参加について

福井銀行（頭取 長谷川 英一）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼 COO 川本 洋祐）を借入人とした株式会社三井住友銀行（頭取 高島 誠）（※1）がアレンジャー兼エージェントとなるシンジケートローン「グリーンローン」（以下「本件」）に参加しましたので、お知らせいたします。

本件での融資対応は福井銀行として初の取組みとなります。

「グリーンローン」とは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金使途がグリーンプロジェクトへの充当に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポーティングを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

本件に係わる評価につきましては、株式会社日本格付研究所（代表取締役社長 高木 祥吉、以下「JCR」）が「グリーンローン原則」の適合性に関する第三者機関評価実施をしており、「JCR グリーンローン評価」の最上位評価である「Green1」の総合評価が付与されております。

レンゴーグループは、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPI「レンゴー」として、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組みされており、「パッケージプロバイダー」として持続可能な社会の実現に貢献されています（※2）。

福井県内におきましても、下記複数の拠点を構えておられます。

- 越前市瓜生町 「福井工場」（段ボール製造事業）
- 福井県あわら市 「金津工場」（製紙事業）
- 越前市上真柄町 「武生工場」（セロファン製造事業）
- 福井県あわら市 「中央研究所（福井）」（各種研究）

本件グリーンローンの一部にて、「金津工場」敷地内のセルロース微粒子製造工場に隣接した新プラントを建設します。セルロース微粒子への代替により、マイクロプラスチックビーズ起因の海洋汚染防止が期待されます。また、新プラントでは新技術（新規連続法）を導入し、薬品原単位および電力原単位の低減を図ります。

福井銀行は、本件への取組みを含め、SDGs の目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【シンジケートローンの概要】

借入人	レンゴー株式会社
契約締結日	2022年7月27日
実行日	2022年7月29日
アレンジャー／エージェント	株式会社三井住友銀行
組成金額	50億円
資金用途	(1) バイオマスボイラおよびRPF製造設備の新設資金 (2) 木材由来の100%生分解性素材であるセルロース微粒子プラントの新設資金
貸付人	福井銀行ほか11社

(※1) 2022年7月27日付株式会社三井住友銀行のニュースリリースは
[こちらをご覧ください。](#)

(※2) レンゴー株式会社のウェブサイトは[こちらをご覧ください。](#)

■該当するSDGsの目標



【Fプロジェクト サステナビリティ基本方針】
Fプロジェクトは、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動等の環境問題など地域を取り巻くさまざまな課題解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指してまいります。

以上